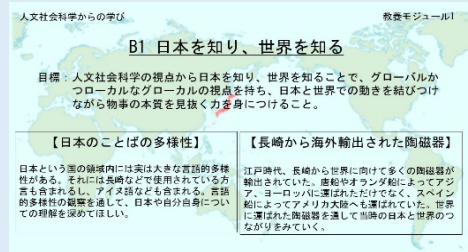


教養モジュール科目案内

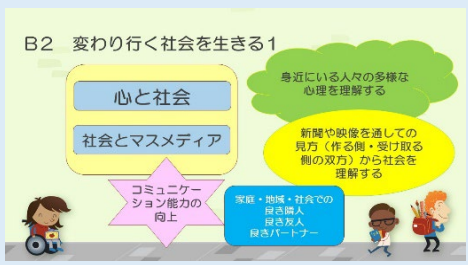
カテゴリー	人文社会科学からの学び	モジュール科目区分	教養モジュール I
テーマ名	23-B1 日本を知り、世界を知る		
対象学部	医学部医学科・医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
テーマ責任者	原田 走一郎	責任部局	多文化社会学部
趣 旨	グローバル化が広く進展している現在、われわれはこれまで以上に「世界を知る」必要に迫られています。このことは必然的に「日本(と日本人)を知る」ことをわれわれに求めます。他者を理解するためにはまず、自らが何者かという問いに深く思いを巡らさなければならないからです。本モジュールでは、日本、アジア、ヨーロッパ、北南米といった空間軸の間で視野を柔軟に調整しつつ、文化、社会、歴史、芸術、言語、交流、教育、政策などの視点から世界と日本を考察します。そして、多様な他者と同時に多様な自己をも理解することを目指します。そこから、グローバル化にともなっている様々な多文化状況に適応する素養と思考力を身につけることが本モジュールの目標です。		
プラネタリーヘルスとの関連性	この星においてヒトは良くも悪くも影響力の大きい存在のうちの一つである。そのヒトの営為を知ることの重要性は言を俟たない。		
学生の皆さんへのメッセージ	グローバル化が急速に進むなかで、われわれは社会的・文化的・言語的に多様性を持つ様々な組織の一員として生活し、働くことになります。「日本を知り、世界を知る」ことは「他者を理解し、自己を省みると同時に相対化する」ことに繋がる知的な営みであり、また、そうした多文化状況で生きていく上で必要不可欠な能力でもあります。本モジュールを受講することで是非そのような力を身につけてください。		
	説明動画		

科目名	担当者名	概要	キーワード	プラネタリーヘルスとの関連性の有無
日本のことばの多様性	原田 走一郎	日本という国の領域内には実は大きな言語的多様性がある。それには長崎などで使用されている方言も含まれるし、アイヌ語なども含まれる。言語的多様性の観察を通して、日本や自分自身についての理解を深めてほしい。	言語学 言語的多様性 方言学	○
長崎から海外輸出された陶磁器	野上 建紀	江戸時代、長崎から世界に向けて多くの陶磁器が輸出されていた。唐船やオランダ船によってアジア、ヨーロッパに運ばれただけでなく、スペイン船によってアメリカ大陸へも運ばれていた。世界に運ばれた陶磁器を通して当時の日本と世界のつながりをみていく。	肥前磁器（有田焼・波佐見焼） 歴史考古学	○

教養モジュールの目標および授業編成の視点との対応	目 標										※授業編成の視点	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	A	B
	知識・技能	主体性	情報リテラシー	論理的組み立て	批判的検討	倫理観	多様性の理解	協働性	考える力やり取り	国際関心・地域社会	取入り文科学の内容を	取り扱科学の内容を
日本のことばの多様性	◎				○		◎	◎	◎	◎	◎	○
長崎から海外輸出された陶磁器	◎						◎			○	◎	
◎（特に重視）の数	2	0	0	0	0	0	2	1	1	1	2	0
○（重視）の数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1

※工学部・水産学部に係るJABEE項目

教養モジュール科目案内

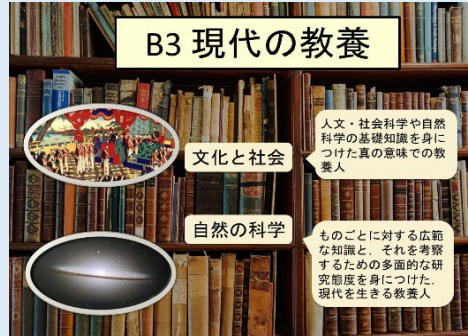
カテゴリー	人文社会科学からの学び	モジュール科目区分	教養モジュール I
テーマ名	23-B2 変わり行く社会を生きる1		
対象学部	医学部医学科・医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
テーマ責任者	内野 成美	責任部局	教育学部
趣 旨	社会の変化は、これまで私たちが経験したことのない速さで、かつ大規模に進んでいます。本テーマでは、私たちの身近に起こっている社会の変化を、心理、社会、多様性の理解、そして価値観という4つの視点から紐解いていきます。そして、変化する社会の中でいかに生きるか、また将来目指すべき社会の姿やよりよく生きる自分の姿について考えます。		
プラネタリーヘルスとの関連性	この授業では、自分も含めた“個”に対する肯定的な視線の向け方や、情報化社会の中の多様なメッセージに対するしっかりとした判断力の育成についてしなやかに考えていくことを目的としています。	説明動画	
学生の皆さんへのメッセージ	今の社会、ひいては将来の社会の姿を作っているのは、私たち一人ひとりです。しかしその私たち一人ひとりには異なる意識や視点、経験を持っています。そうした“個”を意識するとともに、社会という“集団”の中で対応する力をつけるべく、本モジュールでは、私たちが生きる社会の変化について学び、これからの社会の在り方について考える機会にしましょう。		

科目名	担当者名	概 要	キーワード	プラネタリーヘルスとの関連性の有無
心と社会	内野 成美	臨床心理学の視点から、コミュニケーションや多様性への理解を深める。また、発達障がい、対人緊張など、様々な対人関係の困難が生じる事例をもとに、カウンセラーの役割を知り、相談の意義を理解する。	カウンセラー、傾聴、社会人基礎力、臨床心理学	○
社会とマスメディア	矢野 香	ことばや映像を活用して社会にメッセージを発信する新聞、ラジオ、テレビ、インターネットを取り上げ、その中でのことばの使い方や映像の工夫などを理解するとともに、それらを批判的に受け取り、論理的に考える態度の育成を図る。	マスメディア、マイメディア、新聞、ラジオ、テレビ、インターネット	○

教養モジュールの目標および授業編成の視点との対応	目 標										※授業編成の視点	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	A	B
	知識・技能	主体性	情報リテラシー	論理的組み立て	批判的検討	倫理観	多様性の理解	協働性	考える力ややり取り	ハ国の関・地域社会	取入り文扱科う学の内容を	取り扱科う学の内容を
心と社会	○	○			○	○	◎	◎	◎		○	○
社会とマスメディア	○	◎	○	○	○	◎	○			○		○
◎（特に重視）の数	0	1	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0
○（重視）の数	2	1	1	1	2	1	1	0	0	1	1	2

※工学部・水産学部に係るJABEE項目

教養モジュール科目案内

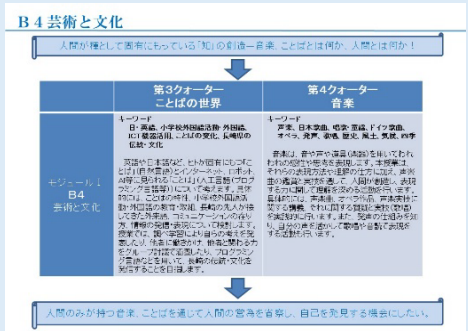
カテゴリー	人文社会科学からの学び	モジュール科目区分	教養モジュール I
テーマ名	23-B3 現代の教養		
対象学部	医学部医学科・医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
テーマ責任者	工藤 哲洋	責任部局	教育学部
趣 旨	<p>21世紀のグローバル社会を生きる人々には、たんに自己の専門分野の知識を深めるだけではなく、ひろく人文・社会科学や自然科学に関係する基礎知識や研究方法を身につけ、真の意味での教養人であることが要求されます。</p> <p>本モジュールでは、モジュール I の各科目で人文科学・社会科学・自然科学の基礎知識や研究方法を修得したのち、各自の関心に応じて、それぞれの分野でより深い知識や研究態度を身につけることができるように、モジュール II の科目を選択できるようになっています。</p>		
プラネタリーヘルスとの関連性	人文科学や自然科学の学修を通して、プラネタリーヘルスについて考えるための基盤を養う。	説明動画	
学生の皆さんへのメッセージ	特定の知識や観点到に偏らず、ものごとに対する広範な知識とそれを考察するための多面的な研究態度を身につけ、現代を生きる教養人をめざしてください。		

科目名	担当者名	概要	キーワード	プラネタリーヘルスとの関連性の有無
文化と社会	田口 由香 中島 貴奈	明治維新期の歴史や文学を学ぶことで、日本の近代国家形成と国際関係を理解し、現代のグローバル化に対応する力を養う。	明治維新、歴史、文学	○
自然の科学	工藤 哲洋	教養としての天文学を学ぶ。宇宙と自分とのつながりを認識し、自然との関わり力を培う。	宇宙、恒星、地球	○

教養モジュールの目標および授業編成の視点との対応	目 標										※授業編成の視点		
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	A	B	
	知識・技能	主体性	情報リテラシー	論理的組み立て	批判的検討	倫理観	多様性の理解	協働性	考える力	やり取り	国際関心・地域社会	取入り文科学の内容を扱う	取り扱われる科学の内容を扱う
文化と社会	○	○					○				○	○	
自然の科学	◎	◎		◎	○			○	○			○	
◎（特に重視）の数	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
○（重視）の数	1	1	0	0	1	0	1	1	1	1	1	1	

※工学部・水産学部に係るJABEE項目

教養モジュール科目案内

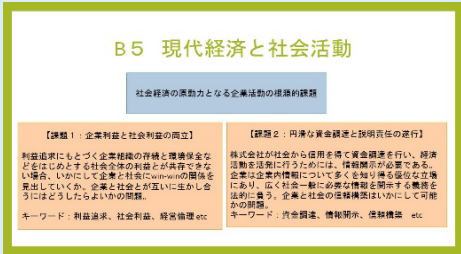
カテゴリー	人文社会科学からの学び	モジュール科目区分	教養モジュール I
テーマ名	23-B4 芸術と文化		
対象学部	医学部医学科・医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
テーマ責任者	松元 浩一	責任部局	教育学部
趣 旨	21世紀のグローバル社会を生きる今日の学生には、単に自己の専門分野の知識を深めるだけでなく、ひろく人文・社会科学や自然科学に関係する基礎知識や研究方法を身につけ、さらに、国立大学の学生として、芸術も理解・表現できるような、真の意味での教養人であることが求められている。 本モジュールでは、人文・社会科学・教育科学の基礎知識や研究方法、芸術の理解・表現方法等について、大学生に求められる教養や知識や研究態度を涵養することを目的として開設する。		
プラネタリーヘルスとの関連性	唱歌・童謡・歌曲の理解から、ことばの変化、歴史・風土・気候・季節との関連を知り、環境や生活の変化への理解へと深めてゆく。	説明動画	
学生の皆さんへのメッセージ	特定の知識や観点到に偏らず、ものごとに対する広範な知識とそれを考察するための多面的な研究態度を身につけ、21世紀を生きる教養人を目指してほしい。		

科 目 名	担当者名	概 要	キーワード	プラネタリーヘルスとの関連性の有無
ことばの世界	松元 浩一 中村 典生 倉田 伸	英語や日本語を初めとする「ことば」を題材にし、コミュニケーション上有用なICT機器の活用も含めて、現代に生きる人間活動の諸問題をことばと情報の観点から考察する。	日・英語、外国語活動、ICT機器活用、長崎県	○
音楽	宮下 茂	声楽曲やオペラ作品等を取り上げ、歴史や風土との関りを知り、音楽作品を鑑賞し理解を深める。発声の仕組みを知り、自分の声を活かして歌唱や音読で表現をする。	声楽、日本歌曲、唱歌・童謡、ドイツ歌曲、オペラ、発声、歌唱、歴史、風土、気候、四季	○

教養モジュールの目標および授業編成の視点との対応	目 標										※授業編成の視点	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	A	B
	知識・技能	主体性	情報リテラシー	論理的組み立て	批判的検討	倫理観	多様性の理解	協働性	考える力	やり取り	国際・関心・地域社会	取入り文科学の内容
ことばの世界	◎	◎	◎	○	○			○	○	○	◎	○
音楽	◎	○	○				○			○	◎	○
◎（特に重視）の数	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0
○（重視）の数	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	0	2

※工学部・水産学部に係るJABEE項目

教養モジュール科目案内


カテゴリー	人文社会科学からの学び	モジュール科目区分	教養モジュール I
テーマ名	23-B5 現代経済と企業活動		
対象学部	医学部医学科・医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
テーマ責任者	林川 万理水	責任部局	経済学部
趣 旨	社会経済の原動力となる企業活動について、その根本課題を考える。企業利益と社会利益の両立はいかになされるか、円滑な資金調達と説明責任の遂行による企業と社会の信頼構築はいかに実現されるかという2つの大きなテーマを考察することにより、社会に生きる企業の在り方を問いながら現代経済と企業活動を学ぶ。		
プラネタリーヘルスとの関連性		説明動画	
学生の皆さんへのメッセージ	社会で生きる上で企業活動の恩恵を受けない人は皆無とっていいでしょう。経済を動かすバリユードライバーである企業は、その重要性ゆえに法規によって様々なことが定められています。生かされる企業とはどのようなものかを考え、より良い社会を創造していく第一歩にしましょう。		

科 目 名	担当者名	概 要	キーワード	プラネタリーヘルスとの関連性の有無
経済活動と社会	高井 計吾	現代経済において、企業は重要な役割を果たしている。それら企業がいかに社会と関わり、目的達成にむけて活動しているのかを、組織、戦略の観点から学ぶ。	経営組織、経営戦略	
企業の仕組みと行動	林川 万理水	株式会社が社会から信用を得て資金調達を行い、経済活動を活発に行うためには、情報開示が必要である。企業は企業内情報について多くを知り得る優位な立場にあり、広く社会一般に必要な情報を開示する義務を法的に負う。企業と社会の信頼構築はいかにして可能かを考える。	資金調達、情報開示、信頼構築	

教養モジュールの目標および授業編成の視点との対応	目 標										※授業編成の視点	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	A	B
	知識・技能	主体性	情報リテラシー	論理的組み立て	批判的検討	倫理観	多様性の理解	協働性	考える力やり取り	ハ国の関・地域社会	取入り扱科学の内容を	取り扱科学の内容を
経済活動と社会	◎			◎	◎				○	○		○
企業の仕組みと行動		○	○			○	◎				◎	○
◎（特に重視）の数	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0
○（重視）の数	0	1	1	0	0	1	0	0	1	1	0	2

※工学部・水産学部に係るJABEE項目

教養モジュール科目案内


カテゴリー	人文社会科学からの学び	モジュール科目区分	教養モジュール I
テーマ名	23-B6 コミュニケーション基礎講座		
対象学部	医学部医学科・医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
テーマ責任者	岡田 佳子	責任部局	教育開発推進機構
趣 旨	<p>今日、コミュニケーション力は社会人の基礎力の中核とされており、大学卒業時に期待される多くの能力のなかでもその筆頭に挙げられています。我々は皆、特定の文化圏に生まれた者として、既に存在するコミュニケーションの網目の中で育ってきます。つまり我々は、個人としてコミュニケーションを行う以前に、コミュニケーションのなかで今の自分になってきたともいえるのです。したがって、コミュニケーションの実践力を高めるためには、普段当たり前にとらえているコミュニケーションにまつわる対人関係や社会問題など、自分が置かれた文化的・社会的な諸状況を俯瞰的に分析するための視座をもつことが、自分と異なる他者と関わるうえで非常に重要な課題となります。そのため、本科目群では、対人関係や社会問題に関し、多様な見方や分析的な視点を持つこと、そしてその視点を活かして実際に他者とコミュニケーションをとるための表現力・ディスカッション力等の諸能力を育成することを目指します。</p>		
プラネタリーヘルスとの関連性	<p>本モジュールは、プラネタリーヘルスを実現するために、多様な価値観を持つ他者を理解すること、また、他者とディスカッションや協働を行い、新しい企画を生み出すことを学ぶ科目群である。</p>		
学生の皆さんへのメッセージ	<p>このモジュールでは自分の経験や社会的・地域的な課題について客観的・分析的に捉え直す視点を培い、考え、表現する力をつけていくことをねらいとしています。そのため、本モジュールでは、皆さんの積極的な参加が不可欠です。授業内では他者とのコミュニケーションや自分の意見を持つことが求められます。本モジュールではグループワークや課題の配点を高くしています。そのため、受動的に授業を受けたい人には不向きな授業であるため、その点に留意して受講してください。社会の中にある様々な問題について一緒に考えていきましょう。</p>		
		説明動画	

科 目 名	担当者名	概 要	キーワード	プラネタリーヘルスとの関連性の有無
対人関係の社会学	岡田 佳子	成長と共に広がる人間関係の中で身についていく思考やふるまい、関係性について理解を深める。また、協同学習を通して人の多様性について考える力を身につける。	社会化・家族・ジェンダー・学校文化・社会階層	○
企画を通してコミュニケーションを考える	松井 史郎	社会は様々な「企画」で動いています。どのようなコミュニケーションを生み出すことを意図して企画が作られているのか、そのプロセスや作り手の意図を理解する努力を通してコミュニケーションの在り方を考えます。	社会ニーズ・態度変容、行動変容・広告・プランニング	○

教養モジュールの目標および授業編成の視点との対応	目 標										※授業編成の視点	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	A	B
	知識・技能	主体性	情報リテラシー	論理的組み立て	批判的検討	倫理観	多様性の理解	協働性	考える力やり取り	ハ国の関・地域社会	取入り文扱う学の内容を	取り扱う学の内容を
対人関係の社会学	○	◎	○	○	◎	○	◎	◎	◎	○	○	◎
企画を通してコミュニケーションを考える	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	○	◎
◎（特に重視）の数	0	2	0	1	2	1	2	1	2	1	0	2
○（重視）の数	2	0	2	1	0	1	0	1	0	1	2	0

※工学部・水産学部に係るJABEE項目

教養モジュール科目案内

カテゴリー	人文社会科学からの学び	モジュール科目区分	教養モジュール I
テーマ名	23-B7 日本から世界へ (英語開講)		
対象学部	医学部医学科・医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
テーマ責任者	清田 智子	責任部局	グローバル連携機構
趣 旨	Think globally, act locallyというフレーズは元々環境問題への対応から生まれましたが、一国の外交・安全保障や開発問題を考える上でも非常に重要な視点です。各国がそれぞれの国益のために動けば、世界は再び軍事力に支配される戦争ばかりの状態になるでしょう。世界中の国々がそれぞれの地域全体や世界全体の平和、繁栄、安定のことを考えて動けば、海上交通路やサプライチェーンも円滑に回り国際経済が発展していき、やがて一人ひとりの生活が豊かになっていくはずで。さらに、日本は依然としてGDP総額で世界第3位の経済力を有しており、国際社会では他国よりも多くの貢献が求められています。このモジュールでは、日本の外交・安全保障や開発援助を世界的な視点から捉えなおし、日本が自国の国益を維持しつつ国際社会の平和、繁栄、安定に寄与するにはどうすれば良いか一緒に考えていきます。		
プラネタリーヘルスとの関連性	国際協力の場面ではいかに地球の環境を維持しつつ開発を進めていくか問題になります。本講義では国益や貧困脱却とプラネタリーヘルスのバランスを考えます。	説明動画	
学生の皆さんへのメッセージ	このモジュールでは、実際に開発や外交の現場で働いてきた講師が、より実践的な内容を実践的な英語で講義します。Act locallyにとどまらずAct globallyを目指す方は、是非講師と一緒に英語も鍛えましょう。 ※このテーマの科目は、すべて英語で授業が実施されます。テーマ決定後は、テーマを変更することはできません。		

科 目 名	担当者名	概 要	キーワード	プラネタリーヘルスとの関連性の有無
Japan's Foreign and National Security Policy	清田 智子	日本の外交・安全保障問題で特に議論が分かれる問題を取り上げ、日本の進むべき道を議論します。	同盟、集団的安全保障、領土問題、国連、海洋秩序、難民問題	○
Introduction to International Development	青木 恒憲	国際協力に関する主要な概念、課題、仕組み、アクター、日本の実例を学び、開発途上国との関わりを議論します。	国際協力、開発援助、SDGs、貧困、JICA、ボランティア、民間連携	○

教養モジュールの目標および授業編成の視点との対応	目 標										※授業編成の視点	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	A	B
	知識・技能	主体性	情報リテラシー	論理的組み立て	批判的検討	倫理観	多様性の理解	協働性	考える力やり取り	へ国の関心・地域社会	取入り文扱科う学の内容を	取り社会扱科う学の内容を
Japan's Foreign and National Security Policy	○	○	◎	◎	○	○	○	○	◎	◎	○	◎
Introduction to International Development	○	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	◎
◎ (特に重視) の数	0	0	1	2	1	0	1	1	2	2	0	2
○ (重視) の数	2	2	1	0	1	2	1	1	0	0	2	0

※工学部・水産学部に係るJABEE項目